

# 教育子午線

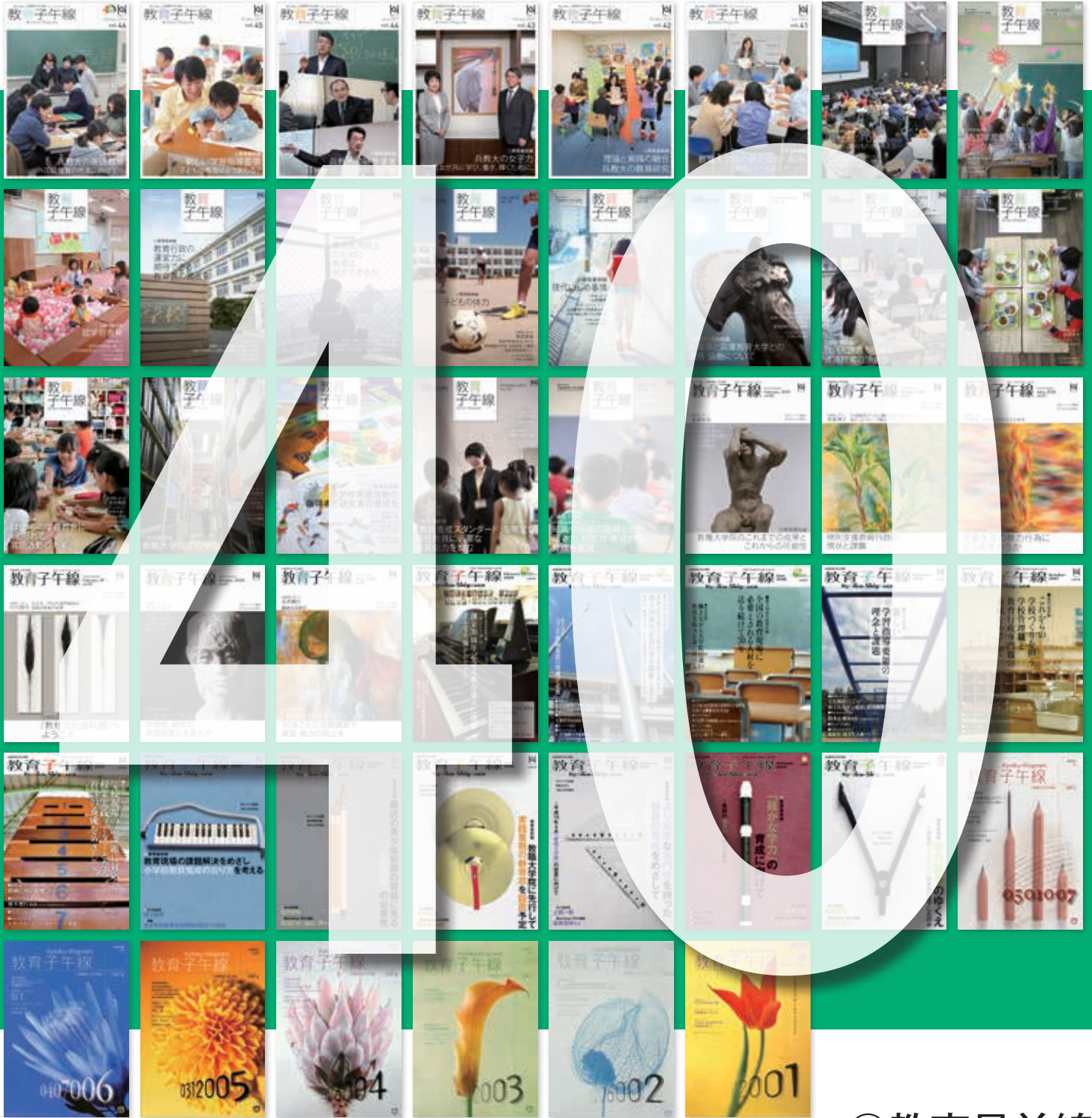
Kyoiku-Shigosen



国立大学法人  
兵庫教育大学

June, 2018

vol.47



◎教育最前線

## 創立40周年特別企画 「教育最前線」を振り返る

# 創立40周年を迎えて

本学は新構想の教育大学として昭和53(1978)年10月に創立以来、今年40周年を迎えます。大学院学校教育研究科の修了生総数は9,656名、学校教育学部卒業生は6,141名、また連合学校教育学研究科(博士課程)では学位取得者が438名となりました。この間、教育実践学の確立を目指し、着実に日本の教育界の進展に寄与してきました。

本学広報誌「教育子午線」の創刊号は平成13(2001)年12月に発行されています。当時、新企画で誌面はフルカラー、年2回発行という意気込みでスタートし、本号が第47号となりました。それ以前には昭和55(1980)年7月に創刊された「学園だより」という広報誌があり、「教育子午線」第8号発行までの間、並行して発刊されていました。「教育子午線」が本学唯一の広報誌となったのは、平成17(2005)年度からです。それとともに発行は年3回、ページ数も12ページから16ページに増加しました。

今回、創立40周年を迎えるにあたり、改めて本誌の広報誌としての存在意義や、創刊時の目的を果たしてきたかを問い直すため、本誌創刊に関わった中渕正堯元学長に登場していただきました。当時の本学の様子や課題を対談の中で語っていただいています。

私自身は昭和60(1985)年10月の着任ですから、これまでの兵庫教育大学の歴史を約33年間見てきたわけです。この間、特に平成16(2004)年の法人化以降の国立大学の変化はあらゆる面で著しいと感じています。教育大学にとっては同時に、教育・学校・子どもを取り巻く急速な社会の変化と対応しています。今改めて「教育子午線」を読み返すと、テーマや内容が社会の変化をよく反映しています。変化の中で大学院に関しては平成20(2008)年の教職大学院の設立と来年度からの拡充が本学のミッションの中で最も重要です。また学部では入試改革に関して、来年度からこれまでの入試方法を根本的に見直すことにしました。博士課程は23年目を迎え、現在の4大学構成体制を6大学構成体制に拡張する予定です。また、学生の生活環境についても改善を重ね、施設等は法人化以前と比べ著しく変化しました。まだまだ大学改革の途中ですが、40周年という節目を迎えて、来るべき50周年に向けて本学のあるべきビジョンを示すことが私に課せられた使命であると考えています。

ふく だ みつ ひろ  
学長 福田 光完

学長室から  
MESSAGE





## 創立40周年特別企画

## 「教育最前線」を振り返る

創刊以来、「教育子午線」の巻頭を飾ってきた特集コーナー「教育最前線」。その時々々の教育分野にまつわる旬な話題や大学の動向などの情報を学内外へ発信してきました。今回は創立40周年特別企画として、創刊当時の学長である中洩正堯名誉教授と福田学長による対談を開催。羽田潤准教授が進行役となり、兵教大の歩みと重ねながら歴代テーマを振り返っていただきました。



はだ じゅん  
**羽田 潤**

言語系教育コース准教授  
大学広報室 広報誌等担当部門責任者


なか すまさたか  
**中洩正堯**

元学長・名誉教授

昭和13(1938)年現北九州市生まれ。広島大学を卒業後、広島県内の公立中学・高校、鳥取大学を経て、56年から兵庫教育大学で教授、評議員、学校教育研究センター長、大学院連合学校教育学研究所長などを歴任。平成12(2000)年12月から4年間学長を務めた後、20年3月に任期満了退職。現在も国語教育探究の会、国語論究の会など、研究・実践に取り組んでいる。

ふくだ みつひろ  
**福田光完**

学長

「教育子午線」のバックナンバーはホームページで見ることができます 





「年に創刊されたことは本学にとつて象徴的で、「外に発信していく」という姿勢を明らかに示した点ですごく意義があると思います。」

**中列** もう一つの背景として、兵教大は「教員

**羽田** 兵教大初の学外向け広報誌「教育子午線」の創刊に至った背景を教えてください。

**中列** 当時、大学の教育行政改革の機運が高まりつつありました。例えば、定員確保や教員就職率、地域貢献などの問題があり、教育学部の再編統合という話も持ち上がっていました。それらに対し、大学として、改革に向かっている、姿勢を表明する意図がありました。

**羽田** 冊子のタイトルは先生がお考えになったと創刊号の編集後記にあります。

**中列** 加東キャンパスは日本の標準時を表す子午線が通る所にあるので、「教育の標準や指標となる大学を目指すんだ」という意気込みで名付けました。

**福田** 初めて誌面を見た時に、すごくインパクトがあったのを覚えています。国立大学がこのようにきれいでおしゃれな広報誌を出すんだ、と。しかも、21世紀の始まりの

「に、学校教育実践学専攻と教科教育実践学専攻をうたい、学位は学校教育学としました。実践との呼称ということで、学位に学校を冠したのは全国の大学で最初です。以来、本学の存立意義は実践学にあるんだという考えに基づき、改革が進んでいると思います。」

**福田** そうですね。70年代初めに新構想が議論され、その中で兵教大の基本構想が示されました。そして、現職教員の高度の研修研鑽の機会を確保する観点から昭和53(1978)年に開学したという経緯があり、それが現在までずっと底流にあります。兵教大の教員自身も「もともと大学の在り方について考えていかなければ」という雰囲気になったのは博士課程が誕生する90年代後半からだったと思います。

**中列** 90年代に大学審議会や中央教育審議会が大学の個性化・機能強化という話が活発化し、各大学がそれぞれのミッションを果たしているのかという議論もありました。

**中列** そうした中、兵教大は平成8(1996)年に他大学との差別化を図る旗印として、「実践学」を掲げました。本学が中心となつて連合大学院を設立した時

に、学校教育実践学専攻と教科教育実践学専攻をうたい、学位は学校教育学としました。実践との呼称ということで、学位に学校を冠したのは全国の大学で最初です。以来、本学の存立意義は実践学にあるんだという考えに基づき、改革が進んでいると思います。

「に総合学習系コースを設置しました。教育行政からの動きに対して、本学が改革の動きを示した最初の例だと思えます。実践学という「実践」は、アカデミックの世界では理論や研究と対になる概念である一方、教育行政が打ち出すものに対して大学としてどう応えていくか、という意味合いが含まれるようになり、2方向での捉え方ができました。教育行政にフレキシブルに対応できる姿勢を示したことが、後に次々行われた改革につながりました。」

**福田** そうですね。

**中列** なお、総合学習系コースの成果や課題については、生かしたいものですね。今回の学習指導要領の改定で新しくカリキュラムマネジメントという言葉が出てきましたが、総合的な学習の時間はまさにカリキュラムを作っていく力がなければできない教科です。当時、

**羽田** 2号では新学習指導要領を取り上げています。いわゆるゆとり教育の始まりで、記事では批判的な言葉も登場します。

### 教育行政に柔軟に対応し 新コースを設置

**中列** 完全週5日制になったことと、総合的な学習の時間が始まったことをうたっていますね。この改定に関連して、兵教大では平成12(2000)年に修士課程

に、学校教育実践学専攻と教科教育実践学専攻をうたい、学位は学校教育学としました。実践との呼称ということで、学位に学校を冠したのは全国の大学で最初です。以来、本学の存立意義は実践学にあるんだという考えに基づき、改革が進んでいると思います。

### 解説

#### 総合学習系コース

平成12(2000)年度から18年度まで、修士課程教科・領域教育専攻内に開設されていたコースで、情報、環境、異文化理解などのテーマを中心に、教科横断的な教育活動に必要な指導法を理論と実践の両面から研究することを目的としていました。

No.	発行年月	教育最前線テーマ
1	13年 12月	創刊記念インタビュー 中列正堯学長に聞く
2	14年 6月	新しい学習指導要領が 今年度からスタート 「生きる力」の育成をめざし「総合的な学習の時間」が創設
3	12月	子どもの成長と心のケア
4	6月	求められる「学校と地域の連携」
5	15年 12月	なぜ学校教育に芸術教育が必要なのか
6	16年 7月	特別企画 「国立大学法人としての兵庫教育大学」
7	1月	教員の指導力向上をめざして
8	17年 6月	学力論争のゆくえ 日本の子どもは本当に低下したのか
9	10月	「確かな学力」の育成に向けて 教師の指導力に何が必要か
10	2月	より高度な専門性を持った 教員の育成をめざして 平成19年4月「教職大学院」の設置 に向けて
11	6月	教職大学院に先行して 実践重視の新専攻を設置予定
12	10月	最近の青少年犯罪の背景に見る 「心の教育」の必要性
13	2月	教育現場の課題解決をめざし 小学校教員養成の在り方を考える
14	19年 6月	学校現場の諸問題に対応し授業実践 リーダーとなる教員の養成をめざして



〔解説〕

学報

学内の管理運営の円滑化などを目的に、昭和55(1980)年10月から発行されていた月刊誌。平成28年4月の415号を最後に廃刊となりました。



学園だより

昭和55(1980)年7月から発行されていた学内向け広報誌。平成10(1998)年1月、国立大学等優秀広報紙表彰で優秀賞を受賞。17年3月の77号を最後に廃刊となり、「教育子午線」に引き継がれました。



学校教育の内容と併せてももっとしっかり検討していれば、マネジメント力を養成するコースになったのかなと思います。加えて、各教科との絡みがかもっと進められてもよかつたかなという気もしますが、難しいところですよ。

**福田** 学習指導要領で教科の枠組みが決められているので、教科の壁は打ち破れないところがあります。例えば、家庭のごみを分別し集積所を持って行くまでが家庭科で、それ以降の自治体によるごみ処理は社会科の内容になります。中学生になると教科の縦割りがより顕著になるので、総合的な学習の時間はそれらを切り開く存在として期待していました。ただ、残念ながら総合的な学習の時間に対する考え方がそれぞれ違い、一つにまとまりませんでした。米作りをテーマに1年間取り組ん

だ学校があつたりと、非常にいい教材が残っているにもかかわらず一般化しなかつたことは残念です。

**国立大学から大学法人へ未来に向けたプランを提示**

**羽田** 6号では兵教大の法人化を取り上げています。

**福田** 法人化当時、学長として何が一番大変でしたか。

**中刈** われわれ自身も理解できないところがある中で、周りの人が分かるように規則や制度をつくり上げていくのは大変でした。

**福田** 学則も文書も全て国立大時代のもので法人法に対応させた形で変える必要があり、すごい作業量だったと思います。

**中刈** もう無我夢中でした。当時、私は学長として「21世紀新構想大学プラン」を作成しました。かつて発行していた「学報」や「学園

### 専門職学位課程の特色ある科目

**実習科目**

学校や教育行政現場等で総合的に体験・考察するため、各専攻・コースごとに実習科目を開設。コースごとに10~14単位を必修とし、実践的指導力等の習得を目指しています。

**共通基礎科目**

学校教育で中核的・指導的役割を果たす教員となるために必要な基礎的領域に基づいた授業科目「特色あるカリキュラムづくりの理論と実践」「人間の成長を促す教育の理論と実践」などを開設。コースごとに12~18単位を必修としています。

だより」に、歴代の学長が退官する時に本学の取り組みや課題をまとめておられたので、それらを基に構想を練りました。そして、完成したプランを参考に、濱名佐藤両副学長に中期目標や中期計画を立ててもらいました。

**変革をもたらした教職大学院の設置**

**羽田** 10号のテーマは「より高度な専門性を持った教員の育成をめざして」。翌年の教職大学院の正式な開設を控え、1年先行して取り組みが始まったタイミングでした。

**福田** 本学が1年先行して認められ、翌平成20(2008)年の教職大学院への移行時には



ぼそのままの形で認められたことは、全国的に大きなインパクトがあつたと思います。

**中刈** 10号を改めて読むと、子どもたちの学ぶ意欲や規範意識、自立心の低下、いじめや不登校の深刻化など、複雑多様化している課題に対応できる実践的能力のある人員を整備する、というのが教職大学院の設立趣旨です。日本の教育界の負の側面に対応する大学改革という感じですね。教育現場の問題に対応するという点で

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
24年		23年			22年			21年			20年		
2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月
小学校英語活動の指導者と研究者の育成を	「教員養成スタンダード」を策定し新任教員に必要な資質能力を育む教員養成スタンダードに基づく4年間の学習プログラム	新学習指導要領がスタート 知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力の育成を重視 新学習指導要領でココが変わる	教職大学院のこれまでの成果とこれからの可能性	特別支援教育行政の現状と課題	児童生徒の暴力行為にどう向き合うか	特別企画「教材文化資料館」へようこそ	小学校の「外国語活動」が必修に 中学校、高校の英語授業にも変化が 担当教員の外国語教委会に対する期待と不安	「教員免許更新制」がスタート 10年ごとに定期講習で 資質・能力の向上を	なぜ、子どもたちの理数系学力は低下したのか	今こそ情動知能の育成が必要	働きながら大学院に通い 教育実践力を身に付ける 夜間クラスの授業を行う 「神戸サテライト」を紹介	新しい学習指導要領の理念と課題 各教科領域の担当教員が 新しい学習指導要領を分析	これからの学校づくりを担う学校管理職と教育行政専門職の養成をめざして

は、一つの実践学のありようかなと思います。

**福田** 実践の具体的な例は、全コースに長期の実習を課している点です。当時、兵教大にとっては大きな改革で、実務経験の豊かな教員も採用しました。教科の壁を超え、いろいろな角度からの見方ができる教員が加わったので、学生の中には職場での担当とは別の教科を専門とする教員が面倒を見ることもありました。違う教科から見た中学校の在り方や、授業のレベルアップの方法などを知ることができ、学生からの評判は良いですね。教職大学院では、従来のように修士論文の指導教員が1人で担当するのではなく、1人の学生に複数の教員が関わり指導する中で自己を高めてもらいます。本学ではこれまでなかったことで、総合学習系コースのエッセンスもうまく取り入れられたと思います。

**中刈** ただ、私は教科教育の専門なので、教職大学院では従来の講座やゼミを中心とした世界が希薄になっている気がします。

**福田** なかなか難しい問題ですね。決して専門性がなくなるといふ制度ではなく、本人に学ぶ意欲が多面的であれば達成できる環境になっています。例えば、教職大学

院の全コースで必修としている**共通基礎科目**はいろいろなコースの

学生と一緒に授業を受けるので、違う立場の人の意見もたくさん聞くことができます。それが学校現場の多様な問題を解決するに当たって良い方向に働けばいいと思います。もちろん、教科を深めたい学生は専門分野もきちんと学びます。ただ、その場合も実践を通して学校で教えることに主眼を置き、どうすれば自分が学んだものを学校現場で生かせるかを思考することを通じて学びをより深めてもらう、というイメージを描いています。

**羽田** 来年度から5教科が教職大学院化する予定で、現在、カリキュラムを整備している最中です。

**中刈** かつての大学院にあった良い面をどこまで取り入れていくか。そういう工夫が要るのではないかと思います。

**新学習指導要領から教育の在り方を考える**

**羽田** 45号で取り上げている、今回の学習指導要領の改定については、どうお考えですか。

**中刈** 今回、目に付いたのは「深い学び」と「学校教育におけるカリキュラムマネジメントの確立」「教科横断的な学習の充実」という

キーワードです。しかし、これらは総合学習以来の課題のような気がします。いい意味で引き継がれていると言えるし、依然として実践の難しい問題として残っているとも言えます。



**福田** 新学習指導要領は、かつてのゆとり教育から脱却し、それな

りの内容があります。さらにもう一段階踏み込み、子どもたちがそれらを本当に消化していくためにはどうするかということに重きが置かれているので、基本的にはその流れは良いと思っています。ただ、子どもたちが学んだことを着実に身に付けていくためには繰り返し学習が必要で、それには教科の時間がきちんと確保されなければな

りません。しかし、小学校では英語など新しい課題がどんどん入ってくる一方、総合的な学習の時間も残っている。新しいことを組み込む前にきちんと取捨選択し、学ぶべきものを段階別に考えていかなければいけません。特に、国語は非常に心配な状況です。

**羽田** 言葉の能力は全ての基本と言えますからね。

**福田** 今、リーディングスキルが問題になっています。文章が理解できなければ問題の意味が分からず、理科も社会も習得できません。その意味で、国語は大切です。

**羽田** 最後に、「教育子午線」は今後どう在るべきか、意見を聞かせてください。

**中刈** 外部の人が読む限り、大学が行っている各事業がどういう内容で何を達成してきたのかなどが分かりません。簡単ないいので、それらを知ることができるものがあればと期待します。

**福田** 今回、改めて1号から目を通して感じたのは、続けていくことが大事だということです。本学は設立構想の地点が大切なので、「教育子午線」ではそれらを受け継いでいるという姿勢を見せなければと思います。

**羽田** 本日はありがとうございました。

46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
30年		29年			28年			27年			26年			25年		24年	
2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月	6月	2月	10月	6月
外国語教育の充実に向けて	新しい学習指導要領 子どもの教育はどう変わる？	兵教大の研修事業 現代的コースを捉えた研修	兵教大の女子力 男女が共に学び、働き、輝くために	理論と実践の融合 兵教大の教育研究	教職大学院の新たな取り組み 「新設コースがスタート」	兵教大のFD活動 「授業は誰のものかを考える」	発達障害支援&インクルーシブ教育	就学前教育	教育行政の運営力に期待できる 教育長の養成を	薬物乱用防止のために 教育は何ができるか	子どもの体力	現代いじめ事情	開学35周年特集	現状と課題から見る道徳教育の重要性	学校における食育のポイントと課題	これからの学校教育に求められる 「言語活動の充実」	教職大学院での学び





かさ はらめぐみ  
**笠原恵**

理数系教育コース  
准教授  
(学校教育学部1期生)

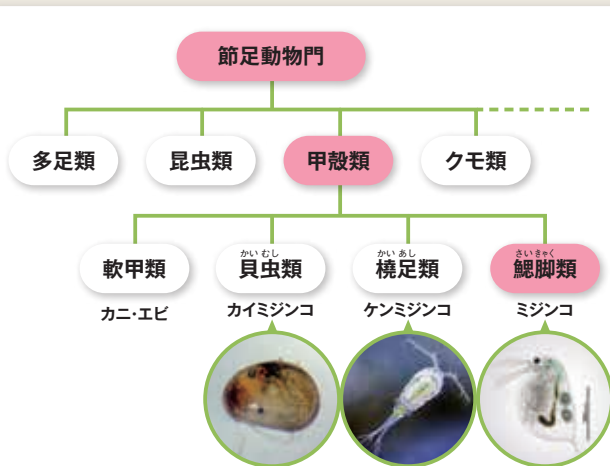
●このページでは日本学術振興会の科学研究費助成事業による助成を受けた研究を紹介します。同助成事業は全ての分野の「学術研究」を格段に発展させることを目的に、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究などに分かれており、挑戦的萌芽研究は、一人または複数の研究者が共同で行う研究が対象。研究期間は2～3年です。

# 研究レポート

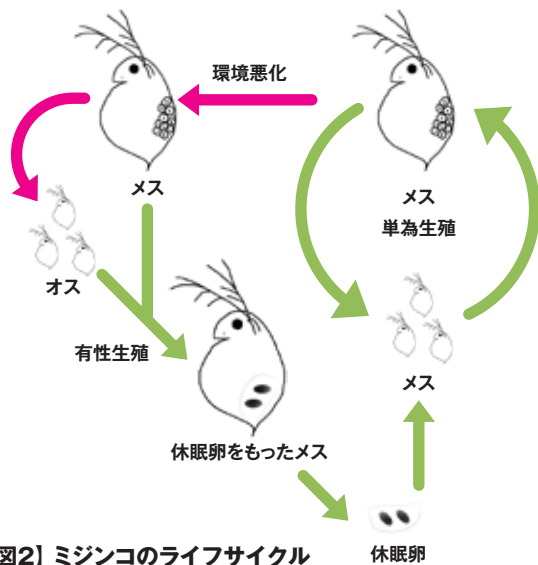
## 環境教育の視点を伴った小学校教材としてのミジンコに関する基礎的研究および教材開発

(平成26～28年度科学研究費助成事業・挑戦的萌芽研究に採択)

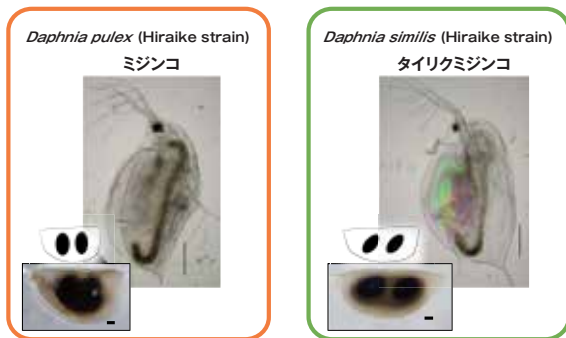
RESEARCH STUDY REPORT



【図1】ミジンコの分類



【図2】ミジンコのライフサイクル



【図3】加東市平池から採取したミジンコとタイリクミジンコ

スケールバーは500μm(成虫)、100μm(休眠卵)を示す。

ミジンコは動物プランクトンの一種で、春から秋にかけてため池や田んぼで見ることが出来る微生物です。ミジンコはエビやカニと近い仲間です【図1】、日本には現在約100種が生息しています。ミジンコのライフサイクルは環境に依存しており、条件が良いとメスがメスのクローンを産み増殖します(単為生殖)。しかし環境が悪化すると、メスがオス

を産み、メスとオスによる有性生殖を行い休眠卵を作ります。環境条件が良くなる、休眠卵からメスが産まれ増殖していきます。このように、ミジンコは二つの生殖様式を環境条件により使い分けています【図2】。

小学校学習指導要領では、環境教育推進の視点から、地域の特性を生かし環境学習の充実を図ることが重要視されています。小学校理科5学年の、水中の小さな生物の学習では、メダカの餌としてプランクトンを観察します。身近な水環境中の生きたプランクトンの観察は、児童にとってワクワクする実感の伴った学習ができる重要な機会です。また、ミクロの世界においても、生物同士がつながり合いバランスのとれた生態系を維持していることを学ぶ機会でもあります。しかしながら、

ミジンコは、メダカのように店頭販売されていないため、見つけることができない場合もあるようです。そこで、研究室では、学校現場で教材として活用できるように基礎研究を行いました。身近な生態系の一つとして加東市平池からミジンコを採取し、その形態観察とミトコンドリアDNAの塩基配列の解析から2種を同定しました【図3】。1

匹のメス由来の系統を確立し、長日条件下でのライフサイクル、オスの産出条件および休眠卵の産出条件を決定しました。今後、これらの条件を基に簡易飼育法や休眠卵のふ化条件などを検討していけば、授業でミジンコが必要な時にふ化させ、必要な数だけ増やすことが出来るようになり、全ての子どもたちに観察させる機会を提示できると期待しています。

## この先生にズームイン

### ご飯は土鍋派

20年ほど前から、ご飯を炊くときは3合用の土鍋を使っている。「炊飯器が壊れたのがきっかけで。沸騰したら弱火にし、水が無くなるまで放ったらかしでいいので簡単ですよ。炊飯器よりも早く炊き上がり、ご飯が冷めてもおいしい点が魅力だという。」



### 食用だけでなく 観賞用にも

食材として使った野菜のへたを水につけ、キッチンカウンターで育てている。「意外と何でも育つんですよ」とにっこり。これまでに育てた野菜は、写真のサトイモのほか、ダイコン、キャベツ、アボカド、ニンジン、豆苗と多岐にわたり、育った後にはおいしくいただいている。



### 普段使いの愛用品

写真は教授になった時に学生たちからお祝いでもらったワイングラスと、「柄がかわいい」とお気に入りのマグカップ。ただ、割ってしまうといけないので、結局は強化ガラスのコップの出番が一番多いとのこと。



## 先生に質問!

**A** 4年間、多様な人と関わる中で進路に迷い、悩むことがあるかと思えます。そのプロセスを大切にしたいですね。一人で答えが出ないときは、友人やコースの先生方などいろいろな人に相談し、それでも解決の糸口が見つからなければ、学内にいるカウンセラーなどの専門的な立場の人にもうまく使えるようになってほしいです。

**Q** 後輩でもある学部生たちに期待することは。

**A** 大学院生の多くは現職教員なので、ご自身が実践してきた教育への振り返りにつながるような授業にしたいと考えています。先生方の日々の教育活動の裏付けとなるような研究データを示すことで、「これでいいんだ」「こういうやり方があるんだ」と認識し、現場復帰後に自信を持って実践したり、それらを他の先生に伝えたりしてもらいたいです。

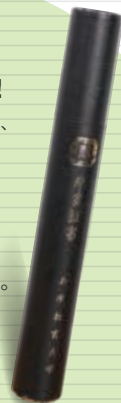
**Q** 担当2科目が同時にベストクラスに選ばれました。授業で心掛けている点は。

**A** 学校心理学です。教員の教育に懸ける思いを子どもたちにうまく伝えるにはどのような働き掛けがより効果的か、ということをお聞きしたいです。例えば、学級の良い雰囲気づくりのためには、個々の児童生徒への声掛けよりも、「このクラスはね」「みんなは…」と全体に向けた言葉の方が効果的だと明らかにになりました。また、クラス全体に向けた言葉かけが一人一人の子どもに対して信頼感を高めることにもつながっているというデータも出ています。

**Q** 先生のご専門は。

### 兵教大の卒業生第一号!

実は兵教大の学部1期生で、50音順の先頭だったため、なんと卒業証書には「第一号」の文字が!「入試の時は校舎がまだ完成してなくて、一部の試験は附属の小中学校で受けました」と1期生ならではの思い出も。「校舎は今とほとんど変わっていませんが、当然ながら当時はすごきれいでしたね」



### 初めて尽くしのキャンパスライフを満喫

第1回大学祭の実行委員として、他大学の知人などに運営方法を教わりながら、開催に向けて仲間と奔走した。「嬉望祭」の名は学内の公募で決めたもので、当日、子ども向けイベントでは司会も務めた。また、友人たちとテニスサークルを結成し、2年生の6月には部活に昇格させた。



## あき みつ けい こ 秋光恵子 教授

学校心理・学校健康教育・  
発達支援コース  
(学校教育学部1期生)

兵庫県出身。昭和61(1986)年兵庫教育大学学校教育学部卒業、平成3(1991)年甲南女子大学大学院文学研究科博士課程を単位取得退学。兵庫県中央児童相談所嘱託心理判定員などを経て、14年兵教大講師に着任、26年から現職。研究分野は学校心理学、教育社会心理学。担当する「子ども理解と学級経営の心理学」と「心理統計研究法演習」(いずれも修士課程)が、兵教大の平成27年度ベストクラスに選出された。

## Q&A

**A** 学校心理学です。教員の教育に懸ける思いを子どもたちにうまく伝えるにはどのような働き掛けがより効果的か、ということをお聞きしたいです。例えば、学級の良い雰囲気づくりのためには、個々の児童生徒への声掛けよりも、「このクラスはね」「みんなは…」と全体に向けた言葉の方が効果的だと明らかにになりました。また、クラス全体に向けた言葉かけが一人一人の子どもに対して信頼感を高めることにもつながっているというデータも出ています。

**Q** 先生のご専門は。



# 同窓生からの手紙

29年度  
文部科学大臣  
優秀教職員表彰  
受賞



あ だちしょうご  
**足立昭吾**さん

兵庫県立和田山特別支援学校教頭

水上町(現丹波市)出身。平成22(2010)年、修士課程心身障害コース、30(2018)年に専門職学位課程学校経営コースを修了し、4月から現職。

## 2つのコースで学び、得られた一番の宝は人とのつながりです



←スクールバスの見送り

大学院では二つのコースで計4年間学ばせていただきました。今のキャリアの全てを兵教大での学びがカバーしてくれていると感じています。大学院で得た一番の宝は、「一人とのつながり」です。県内各地、そして県外の先生方と同じ空間で議論したり、協力して課題レポートを作り上げたりした経験はとても貴重なものでした。同期の仲間だけではなく、教員の皆さんとの出会いもありました。専門的な知見からのアドバイスは、知らないことに気付いていないことに気付かされ、自

分の中にすっと染み渡るものがありました。自身で調べ、考えをまとめて発表し、議論を通じてフィードバックを得る。その繰り返しの中で、分散しがちな議論の方向性を集約する力も身に付いたように思います。この習慣化された思考力は、管理職としての今の仕事にとても役立っています。当時間係してくださった方々との交流は今もあり、そこでは新しい気付きという出会いがあります。大学院で培った人脈と知識は、今後も良い刺激をもたらしてくれるだろうと確信しています。

# LETTERS FROM OB



のほり みつひろ  
**登光広**さん

加東市立福田小学校長

大阪市出身。昭和59(1984)年、学部3期生として学校教育学部社会系専修コースに入学。卒業後、大学のある加東郡(現加東市)の公立小学校教員に。県教委・市教委を経て、平成29(2017)年度から現職。

## 積極的に行動した経験が今の糧になっています



→校長として初めての卒業証書授与式

学 校経営を委ねられて、1年が過ぎました。今、校長として、「人は言葉だけでは動いてくれない」ということを改めて実感しています。校長が明確なビジョンや方向性を言葉で示すことは大切ですが、その上で、少しでも先生方や子どもたちの助けになればと、自ら行動することを心掛けています。

多様なアルバイトをした中で、積極的に動くことで多くの人と信頼関係を築けた経験から生まれています。今年、創立40周年を迎えた兵教大。在学当時、コンビニはもちろんファミレスもなく、大学生には不便な所でした。友だちと夜中に、「○○○へ行こう」と歌いながら須磨のファミレスへよくドライブしていました。私の行動力は、ひよっとしたらこの経験が生きているのではと、当時を懐かしく思い出しています。後輩の皆さんも学生時代に多くのことを経験し、自身の将来の糧にしてください。

### ▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

#### 第38回

#### 大学院同窓会総会・研究大会【鳥取大会】の開催

大学院同窓会総会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は鳥取県で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月4日④・5日⑤
- ◎会場 ANAクラウンプラザホテル米子(鳥取県米子市)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表  
講師: 福田光完学長、平井伸治鳥取県知事  
巡検: 選択型①コース「日本遺産を訪ねる」、②コース「鬼太郎の町を訪ねる」

# クラブ紹介 バドミントン部



## BADMINTON CLUB

### Data

活動場所 / 体育館  
 活動日(曜日) / 週3日(火曜、金曜、土曜)  
 部員数 / 男子14人、女子7人、計21人  
 顧問 / 上原禎弘教授  
 設立年 / 昭和57(1982)年



バドミントン部は男14人、女7人の合計21人で活動しています。大学から競技を始めた人から、小学校から続けている人までさまざまです。意見が食い違うこともありますが、アットホームな雰囲気です。日々練習に励んでいます。

全国国立教育系大学バドミントン選手権大会では男子団体戦2位、女子シングルスでベスト4に入るなど、輝かしい成績も残っています。夏の近畿教育大会では上位に入れるよう、「雨垂れ石を穿つ」をモットーに練習を頑張ります！

①ステップワークの練習 ②シャトルを狙った所に打つ練習 ③好成績を残した全国教育大会で

### 紹介者



バドミントン部部长  
 もとき やまぐち  
**本岡洋祐**さん  
 学校教育学部  
 自然系コース3年

### うちのイチオシ部員

おおいしげん こ  
**大西憲吾**さん  
 学校教育学部  
 社会系コース3年



バド部のお笑い担当、大西憲吾です。練習中の声の大きさはピカイチ、試合中ポイントを取ると、吠えて吠えて吠えまくります。常にバドミントン、というよりバド部のことを考えて、プライベートもバド部に染まっている、バド部大好き人間です。

### 推薦者



すみもと ありさ  
**住本有里紗**さん  
 学校教育学部  
 自然系コース3年

入部3年目、最近ようやく思い通りにプレーできるようになってきました。ここまで頑張れたのも一緒に楽しく厳しく練習してくれたチームメイトのおかげです。これからは、後輩や自分に何かを残せるように頑張っていきたいです。

たかみなつこ  
**高見奈津子**さん  
 学校教育学部  
 言語系コース3年





もり な さ  
**森 那沙**さん

学校教育学部  
言語系コース3年

平成9(1997)年、姫路市生まれ。県立飾西高校を卒業後、28年に入学。1年時にボランティアステーションの学生スタッフとなり、ボランティア活動を開始。現在は同委員長を務めるほか、あしなが育英会、生涯学習サポート兵庫、加西市ユニテリアーダークラブなど複数の団体に積極的に活動している。学内では文化部会長、茶道部部长も兼務し、オーケストラ部にも所属している。



「学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」での交流プログラムの様子



キラリな人



自分を待っていてくれる人がいるそれが活動の原動力です

H

K

P

F

R  
S  
O  
N

**学** 学校教育学部3年で、ボランティアステーション学生スタッフの委員長を務める森

那沙さんの週末は忙しい。掛け持ちする複数のボランティア団体やイベントの実行委員会に顔をだし、子どもたちの相手をしたり運営会議に出席したりと活動に精を出すからだ。「先週は各地で活動が重なって、2日間の車の走行距離は460キロでした。でも、子どもたちが『楽しい』と喜んでくれるのが一番うれしいので、全然苦ではないです。自分を待っていてくれる人がいると思ったらわくわくします」と屈託のない笑顔を見せる。

元来子ども好きで、特別支援教育に興味を持っていたという森さんは、「障害のある子どもたちに関わるのができると入学早々ボランティアステーション学生スタッフに登録。以来、教育・子ども関連を中心に、学内外で数々の活動に携わってきた。

とりわけ大きな自信につながったのが、3月に東京で開かれた「第6回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」の実行委員となり運営を担った経験だ。昨秋から毎週

のように上京してミーティングを重ね、約30人の仲間たちと当日の内容やゲストスピーカーなどを決めていった。そして迎えた本番の3日間には国内外から約800人が参加。そこで裏方として、時にファシリテーターとして、分科会や交流会などのプログラムがつつがなく進行するよう尽力した。

夢中で駆け抜けた数カ月間を振り返り、達成感を得られた反面、「もっとできることがあったはず」とも感じているそう。それでも、「責任をひしひしと感じる中、つらい時も踏ん張って逃げずにやり遂げたことで強くなれたと思います」と言葉に力を込める。

教員を志し兵教大に入学したものの、小学校教員を目指す」と決断したのは、意外にもごく最近だという。「いろいろな活動をするうちに迷いが生まれたのですが、保護者以外で子どもの生活に一番長く関われるのはやっぱり小学校の先生だと思うので」。理想は児童一人一人が伸び伸びと自分らしさを出すことができる学級づくり。ボランティアで培った気付きや経験を存分に発揮できる日を心待ちにしている。



# データで見る兵教生

～平成29年度実績から検証～

## キャリアデザイン講座受講者数

### 多様な講師陣による バラエティー豊かな講座を展開

教職キャリア開発センターでは、学生の豊かな人間性の育成や社会人としての基礎力養成を目指して、キャリアデザイン講座を実施している。平成29(2017)年度は計8回の講座に延べ165人が参加した。

これらの講座は学内外の講師を招いて開催され、教壇に立つ前の準備講座や就活スタート講座、近年学校現場で取り入れられているICT機器に関する情報関係講座などバラエティー豊かな内容を用意。実際に体を動かすグループディスカッションをするなど、アクティブラーニング形式の講座が多いのも特徴だ。参加者からは予想以上の成果が得られたと評判も高く、今後も多くの学生に積極的に参加してもらいたい。

教員を志した  
原点に戻り  
モチベーションが  
上がりました

キャリアセンターの先生に勧められて参加した講座で、キラキラした目で教員という仕事を魅力的に語ってくださる元気がいっぱいの中島先生の姿を見て、自分自身が教員になりたいと思った原点を思い出しました。それは子どもと本気で遊んだり、笑ったり、悩んだり、子どもと真っすぐに向き合う教員になることです。再認識した教員への憧れや情熱は、教員採用試験へのモチベーションにもなりました！



いしのゆりえ  
石野百合絵さん

学校教育学部  
学校教育系コース4年  
「子どもの心をつかむ！  
学校で使える学級ゲームを  
体験しよう」を受講

学生たちの  
不安解消へ  
実践的内容を  
心掛けています

保護者との連携協力は、子どもを指導する上で不可欠であり、教員にとっては大きな課題でもあります。学生は当然ながら現場での経験が少なく、保護者対応や生徒指導に不安を持っています。そこで、この講座では保護者対応をする上での問題点について、具体的な事例を交えながら対応の在り方を解説するとともに、グループごとのロールプレイング等の演習を通して実践力を培います。参加学生からは、真剣に取り組む姿勢が強く感じられました。



はしもとみお  
橋本富雄さん

教職キャリア開発センター  
キャリア開発指導員  
「実例から学ぶ保護者対応  
～保護者との関係づくり～」講師

教員採用試験に向けて自己PRを考えたいものの、短所ばかりが目が行って「これだ」という案が浮かばない。そんな時に開催されたこの講座を受講したところ、短所が長所になるという発想の転換を学び、自分に自信を持つことができました。また、楽しい活動の中に自分を売り込むスキル習得のための要素が意図的に組み込まれているので、スムーズに、印象強く自分を売り込むことができるようになり、感謝しています。



自信を持って自己PRが  
できるようになりました

ともひろひとし  
友弘一志さん

専門職学位課程  
小学校教員養成特別コース2年  
「自分を売り込む自己PR  
～本当の自分を  
知っていますか～」を受講

### 平成29年度キャリアデザイン講座

講座名	受講者数	講師
<b>教壇に立つ前の準備講座</b>		
子どもの心をつかむ！学校で使える学級ゲームを体験しよう	23人	教育サポーター 仲島正教
実例から学ぶ保護者対応～保護者との関係づくり～	25人	キャリア開発指導員 橋本富雄 生徒指導実践開発コース教授 松本剛
部活、学校現場の体罰を考える	21人	スポーツジャーナリスト 永井洋一
<b>就活スタート講座</b>		
第一印象で差がつく好感度アップ講座	22人	はるやま商事(株) 資生堂ジャパン
自分を売り込む自己PR ～本当の自分を知っていますか～	36人	(株)V3 代表取締役 中川コイチ
「最近の若者は…」と言われないためのマナー講座 電話応対、メール・手紙の書き方 編	15人	トータルマナー研究所 所長 河本栄味子
<b>情報関係講座</b>		
最新機器を体験！学校現場で導入されているICT機器	14人	チエル(株) マーケティング部長 村上有弘
<b>メンタルヘルス講座</b>		
仕事とメンタルヘルス ～うつ病や過労自殺に追い込まれる前に～	9人	近畿中央病院メンタルヘルスケア・センター 副センター長 井上麻紀



## ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、  
行きつけのスポットや思い出の一冊。  
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。



「笑の大学」(DVD) 好評発売中  
発売元/フジテレビ・東宝・バルコ  
販売元/東宝



なかや ひとみ  
**中谷仁美**さん  
専門職学位課程  
学校経営コース2年

## MOVIE

**あなたは今日、何回笑いましたか？**  
**舞**台は昭和15(1940)年の浅草。治安維持法によって表現の自由が著しく制限される時代。「笑いの無い喜劇を書け」という無茶な要求で上演禁止を繰り返す検閲官と、何とか検閲をパスして観客に笑いを提供しようとする下がる劇作家が、いつの間にか共同作業で抱腹絶倒の台本を作り上げていきます。検閲官の駄目出しが、新しい笑いのアイデアを生む原動力になったのです。役所広司扮する厳格で職務に忠実な検閲官がラストシーンで叫ぶ一言に、それまでの笑いは吹き飛び、目頭が熱くなるのです。お笑い好きの人、最近笑っていないなあという人にお薦めの一本です。

## 今後はライブにも行ってみたいです

**去**年の夏休みごろ、FMを聞きながらドライブしている時に初めてSEKAI NO OWARIというグループを知りました。その時流れていたのが「RAIN」という曲でした。  
この曲は、スタジオジブリ作品「メアリと魔女の花」の主題歌でもあります。最初は歌詞の意味がよく分からなかったけれど、メロディーが心に残り、聞いているうちに好きになりました。また、映画の内容が気になり本を買って読んでみると、映画の情景が思い浮かびました。今では日本語の勉強として、SEKAI NO OWARIの他の曲を聴くことが日課になっています。今後は、彼らのライブにも行ってみたいと考えています。

## MUSIC



**エンバートル・チンボルド**さん  
(モンゴル)  
修士課程  
障害科学コース2年



SEKAI NO OWARI  
「RAIN」  
発売元/トイズファクトリー



コメダ珈琲店 滝野社インター店  
加東市北野400-1  
☎0795-48-3343  
7:00~23:00(ラストオーダー22:30)無休



ますやま ひろし  
**増山浩史**さん  
専門職学位課程  
生徒指導実践開発コース2年

## SPOT

**シロノワールがお薦めです！**  
**落**ち着いた雰囲気です。コーヒーを飲みたいという人、研究課題等で疲れた時に少し休みたいという人、そんな人にお薦めの場所があります。滝野社IC近くの「コメダ珈琲店」です。  
ふかふかのソファだけでなく、隣との距離が近すぎず、とても落ち着くことができます。お薦めメニューの「コーヒートシロノワールの組み合わせ」は最高です。コーヒートケットを買えば、よりお得です。また、朝11時までのモーニングに付くパンがとてもおいしい!!  
大学からも近いので多くの人が利用していると思いますが、これからも利用していきたいお店です!

## 読む人の心を動かす物語です

**私**は人の感情を知るのが好きです。その人のことを少し知れた気がして楽しいのです。ですが、大学生にもなると皆隠してしまい、なかなか人の感情を知る機会がなくなりました。そんな時、私はこの本を通して人の感情を垣間見ることができました。  
この本は「人の死が見たい」少年たちと老人の物語。主人公は塾にクラブにと忙しい一般的な男子たちですが、彼らは彼らなりのさまざまな背景を持っています。楽しくて、面白くて、時々厳しい。学校では教えてくれないことばかりの老人との日々。この楽しくて切なくてまっすぐな物語に、きつと読む人の心も動かされるのでは。

## BOOK



ふくい みなみ  
**福井南海**さん  
学校教育学部  
学校心理系コース2年



湯本香樹実  
「夏の庭-The Friends-」  
徳間書店

## URESHINO BULLETIN BOARD

### オープンキャンパス2018

高校生、保護者、高等学校教諭、受験を検討されている方などを対象に、今年もオープンキャンパスを開催します(予約不要)。

① 7月15日(土) 9:30~15:30(受付9:00~15:00)

② 加東キャンパス(詳細は本学ホームページをご確認ください)

参加者には  
兵教大  
オリジナルグッズを  
プレゼント!

### 学部 進学ガイダンス

大学概要の説明、在学生体験談、入学者選抜試験の説明、個別相談、模擬授業等を行います(事前申し込み制)。

① 9月8日(土) ② 10月6日(土)

③ ①大阪サテライト ②神戸ハーバーランドキャンパス(兵教ホール)

※詳細は7月上旬に本学ホームページでお知らせします

④ 入試課 TEL 0795-44-2067

FAX 0795-44-2069

⑤ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp



### 教材文化資料館 平成30年度前期展 「実験! 観察! 体験!」

過去100年の間、文明開化や富国強兵、大戦といった大きな歴史の影響を受け、理念や方向性が大きく揺れ動いてきた理科教育。コンデンサーや電子振子、ライデン瓶など大正から昭和の時代に高等学校で使われた実験教具約20点を展示し、明治以降の理科教育の歴史を概観します。その他、錯視やマジックミラーなど遊べる体験コーナーも。

① 8月31日(土)まで 8:30~22:00、

土曜・日曜・祝休日 10:00~17:00

② 教材文化資料館(附属図書館内)

③ 8月11日(土) 9:00~15:00、18日(土)

※臨時休館する場合があるので、附属図書館のホームページなどで確認してください

④ 兵庫教育大学教材文化資料館 TEL 0795-44-2362



↑ 高等女学校  
理科実験器具

### 井澤信三研究室、加東市発達サポート センター「はびあ」共同事業 「e-スタートプログラム(就学移行支援)」

1月~5月 発達心理臨床研究センター

発達の気になる小学校入学前の子どもを対象に実施。教室に必要なスキルや友達との関係づくりについて学ぼうと、全10回、7人が参加しました。本学からは特別支援教育専攻の大学院修了生がリーダー、大学院生がスタッフとして運営に参加。保護者からは「入学前の準備として安心につながった」と感想が寄せられました。



### ボランティアステーション・ ネットワーク交流会

2月16日 総合研究棟大会議室

派遣先46団体50人のほか、学生39人、教職員6人が参加する中、学生たちが活動を振り返り、体験から得た学びを発表。ボランティアステーション学生スタッフが中心となり企画・運営したもので、4年目を迎える同会は世代、業種、官民等の違いを超えて意見交換する貴重な場として定着しています。



### 今年も開催します! 理科&科学の地域での サイエンス祭

学校の理科の授業ではじっくりと触れることのできないような実験機器を用意。子どもたちが自主的に科学実験を楽しみ、感動体験を持つ環境を創り出すことで、理科と科学への興味・関心を育みます(申し込み不要)。

① 7月26日(土)~29日(日) 13:00~16:00

② 小野市うるおい交流館エクラ・ハートフルサロン

※危険な機器があるため、小学3年生以下は保護者同伴で参加してください。参加に係る傷害保険等の加入は必要に応じて各自でお願いします

③ 社会連携センター

TEL 0795-44-2409 FAX 0795-44-2320



### 英語力向上ステーションを開設

4月 加東キャンパス総合研究棟1階

学生の英語力向上を図るため、学生が気軽に訪れ、日常的に英語に接することができる場所の一つとして整備されました。今後、本学のグローバル化や英語力向上のための各種事業の拠点として、英語検定対策講座をはじめとしたさまざまな活動やイベントが行われます。5月31日には、ジョリーフォニクス公式トレーナーの山下桂世子さんを講師に、子どもたちが英単語の読み書きを多感覚を使って楽しく学ぶプログラム「Jolly Phonics」のワークショップを開催。約60人が参加し、その指導法を学びました。



### 附属中学校地域開放講座 「大人も楽しく学ぼう」

5月から始まった地域開放講座(参加型公開授業)として、「サイエンス・心理部門」「人文・言語」「ものづくり・心と体づくり」をテーマに、16の講座を本学大学教授等の専門家と附属中学校教員がペアで授業を実施します。一般の人も参加いただけます。

① 6月26日(土)、7月3日(日)、10日(日)、9月25日(土)、10月2日(日)、9日(土)、16日(土)いずれも 10:50~11:40(50分授業)ポスターセッション発表会 10月23日(土) 10:50~12:40(予定)

② 兵教大附属中学校

※お越しの際は事務室に声を掛けてください

③ 無料

④ 兵教大附属中学校(大森副校長) TEL 0795-40-2222

※詳細は本学ホームページトップ「イベント情報」をご覧ください



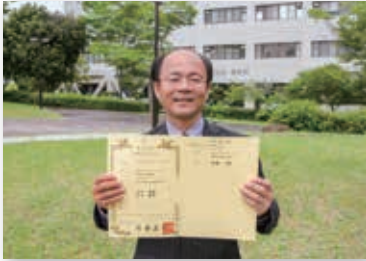
● 催し  
● 過去の出来事  
● 募集  
● 日時  
● 場所  
● 受講料  
● 休業日  
● 申し込み先  
● 問い合わせ先



現場の課題にお答えします!

山口忠承准教授が  
特許を取得

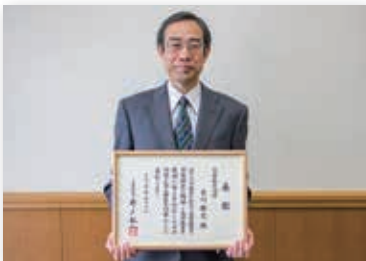
平成26(2014)年に学校法人立教学院の入江正浩教授、(株)KANKOの高島一郎さんと共同出願した「放射線線量の測定方法およびその線量計」が特許を取得。放射線の一種のガンマ線を、蛍光発光を利用して人間の致死量以下の感度で検出でき、安全な放射線の管理に役立つことが期待される。



もり やまじゅん  
**森山潤**  
授業実践開発コース教授

古川教授が  
兵庫県功労者表彰を受賞

古川雅文教授が兵庫県功労者表彰(学術教育功労)を受けた。長年にわたる大学運営と学術研究に精励し大学教育の振興に尽くした功績がたたえられたもの。古川教授は「県の教育関係者、本学の学生の皆さんから多くの学びを得たこと、地道な活動を表彰していただいたことに感謝します」と喜びを語った。



キャンパス  
トピックス

難波教授に社税務署から  
感謝状が授与

租税教育行政の円滑な運営への寄与、特に本学学生への租税教室の実施など、次代を担う大学生に対する租税教育の推進について多大な貢献があったとして、難波安彦教授(写真右側)に野村浩一社税務署長から感謝状の授与と記念品が贈呈された。



なぜ、プログラミング教育の  
必要性が叫ばれているのでしょうか。  
また、現場ではどのように  
実践すれば良いのでしょうか。



私たちは普段、数多くのテクノロジーを利用して生活しています。中でも最近では、人工知能やIoT(Internet of Things)・モノのインターネット)など、情報技術の進化は目覚ましいものがあります。このような背景の下、新学習指導要領では、小学校にプログラミング教育が導入されました。育成する資質・能力は、次の3つです。  
〔知識・技能〕身近な生活で「コンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くこと。  
〔思考・判断・表現〕発達の段階に即して、「プログラミング的思考」を育成すること。

〔学びに向かう力・人間性等〕  
発達の段階に即して、コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりを生かそうとする態度を涵養すること。  
これらを総合的な学習の時間、算数科の図形学習、理科の電気学習等で育成します。総合的な学習の時間では、プログラミングに慣れ親しませ、身近な生活の中にある問題を解決する活動が考えられます。算数科では、プログラミングを活用し、さまざまな図形の描画を通して多角形概念を学ぶ活動が考えられます。理科では、電気の働きを社会や生活の中で活用する仕組みとして「コンピュータ

制御について学ぶ活動が考えられます。  
これらの活動を通して児童は、情報技術の仕組みを理解し適切に活用するだけでなく、未来の社会づくりに向けて情報技術の在り方を考えたり、新たな発想での工夫・創造にチャレンジしたりする力を身に付けていくことができます。また、その中で問題解決に不可欠な論理的思考力や創造性を高めていくことが期待されます。  
初歩のプログラミングは決して難しくありません。まずは、先生方がプログラミングを体験し、その面白さと奥深さを感じ取ることから始めてみましょう。

## 兵庫教育大学からのお知らせ

☎=申し込み先 ☎=問い合わせ先

### 大学院学校教育研究科の改組

平成31(2019)年4月から大学院修士課程および専門職学位課程(教職大学院)の教育研究組織を下図の通り変更する予定です。本変更は、専門職学位課程(教職大学院)を拡充することにより、教員養成機能をより一層高め、教員養成の中心的役割を果たす国立教員養成大学として、わが国の学校教育全体の質の向上をリードすることを主な目的としています。なお、本変更は平成31年度予算の成立により確定するものです。

### 大学院学校教育研究科の教育研究組織移行図(予定)入学定員300人

<b>200</b> 大学院学校教育研究科(修士課程)	<b>145</b> 大学院学校教育研究科(修士課程)
80 人間発達教育専攻	115 人間発達教育専攻
教育コミュニケーションコース	教育コミュニケーションコース
幼年教育・発達支援コース	幼年教育・発達支援コース
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	学校心理・学校健康教育・発達支援コース
臨床心理学コース	臨床心理学コース
30 特別支援教育専攻	芸術表現系教育コース
障害科学コース	生活・健康・情報系教育コース
発達障害支援実践コース	30 特別支援教育専攻
90 教科教育実践開発専攻	障害科学コース
言語系教育コース	発達障害支援実践コース
社会系教育コース	教科教育実践開発専攻 廃止
理数系教育コース	
芸術系教育コース	
生活・健康・情報系教育コース	
	<b>155</b> 大学院学校教育研究科(専門職学位課程)
	155 教育実践高度化専攻
	学校経営コース
	学校臨床科学コース
	言語系教科マネジメントコース
	社会系教科マネジメントコース
	理数系教科マネジメントコース
	小学校教員養成特別コース
	グローバル化推進教育リーダーコース
	教育政策リーダーコース
<b>100</b> 大学院学校教育研究科(専門職学位課程)	
100 教育実践高度化専攻	
学校経営コース	
授業実践開発コース	
生徒指導実践開発コース	
小学校教員養成特別コース	
教育政策リーダーコース	
グローバル化推進教育リーダーコース	

☎ 入試課 ☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069 ☎ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

### 大学院学校教育研究科説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修了生・在学生の体験談の時間も設けます。

#### 開催日

※13:30~(9月28日☎のみ19:00~)

#### 加東キャンパス

10月6日☎

※午前中に学内施設の見学会を実施します

#### 神戸ハーバーランドキャンパス

7月7日☎、9月8日☎、28日☎、12月22日☎、

31年1月26日☎

#### 梅田スカイビル(大阪市北区)

31年1月12日☎

### AP品川アネックス(東京都港区)

9月22日☎

※事前申し込み制(9月14日☎まで)

☎ 広報・社会連携課

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2320

☎ pro-kyosyoku@hyogo-u.ac.jp

### 大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

※平日のみ

☎ 大学院入学相談室

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2320

☎ pro-kyosyoku@hyogo-u.ac.jp

### 平成31年度学生募集

### 大学院学校教育研究科(修士課程・専門職学位課程)

8月選抜、11月選抜、3月選抜の3回に分けて募集します。

#### 修士課程

◆人間発達教育専攻	開講クラス	8月選抜	11月選抜	3月選抜
教育コミュニケーションコース	昼間 夜間			
幼年教育・発達支援コース	昼間 夜間			
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	昼間 夜間		80人※1	
臨床心理学コース	昼間 夜間		臨床心理学コースの8月選抜は昼間クラスのための募集です	
芸術表現系教育コース	昼間 夜間			
生活・健康・情報系教育コース	昼間 夜間			

◆特別支援教育専攻	8月選抜	11月選抜	3月選抜
障害科学コース			30人
発達障害支援実践コース			

#### 専門職学位課程(教職大学院)

◆教育実践高度化専攻	8月選抜	11月選抜	3月選抜
学校経営コース			
学校臨床科学コース			
言語系教科マネジメントコース			
社会系教科マネジメントコース			100人※2
理数系教科マネジメントコース			
小学校教員養成特別コース			
グローバル化推進教育リーダーコース			
教育政策リーダーコース			

合計 210人※3

\*平成31年度の予算成立により、※1:115人、※2:155人、※3:300人の入学定員となります

#### 8月選抜

☎ 出願期間 7月12日☎~20日☎(必着)

☎ 試験日 8月18日☎

☎ 合格者の発表 9月7日☎10:00

#### 11月選抜

☎ 出願期間 10月11日☎~19日☎(必着)

☎ 試験日 11月17日☎

☎ 合格者の発表 11月30日☎10:00

#### 3月選抜

☎ 出願期間 31年2月7日☎~15日☎(必着)

☎ 試験日 31年3月2日☎

☎ 合格者の発表 31年3月14日☎10:00

☎ 入試課

☎ 0795-44-2067 ☎ 0795-44-2069

☎ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

### 編集後記

「教育子午線の特集で『教育子午線』を振り返るのも面白いのでは?」そんな思いつきから、今号の「教育最前線」創立40周年特別企画は動き出しました。誌面を読み返すだけでは知り得なかったことや、現在の「教育子午線」へのご意見を伺うことができました。今後の広報誌の在り方について改めて考える機会をいただいた号となりました(な)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください

#### ◎授業風景

「教育最前線」で紹介した共通基礎科目「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」受講の様子です。關浩和教授指導の下、コースの垣根を越えて熱心に学ばれています。



### ◎あなたの声を聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがき、インターネットのアンケートサイト、メールでご意見、ご感想をお寄せいただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

【あて先】

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学広報室

☎ 0795-44-2431 ☎ 0795-44-2320

☎ office-koho@hyogo-u.ac.jp

アンケートサイトURL

https://jp.surveymonkey.com/r/K6PT8YD



アンケート  
サイト

